

第 2 学年 体育科学習指導案

2年1組 指導者 大賀拓也

単 元 エンジョイ！キャッチテンカ

1 本単元でめざす子どもの姿について

対象と向き合う子どもの姿【対】	自己と向き合う子どもの姿【自】	他者と向き合う子どもの姿【他】
○いろいろな捕球の仕方を試しながら運動している。	○勝敗や捕球のコツを意識し、よりよい捕球の仕方に挑んでいる。	○運動をする中で、捕球のコツを伝えたり尋ねたりしている。

2 めざす子どもの姿を実現するために

本学級の子どもたちは、体づくりの運動遊びの学習において、遊び方を工夫することでなわとび遊びの楽しさに触れ、心と体の変化のつながりに気付いてきた。このような子どもたちが、捕球のコツを考え、仲間と競い合う楽しさを味わいながら、ボールゲームに取り組む。このことは、よりよい捕球の仕方に挑み、運動へのかかわり方を工夫していこうとする態度を養うことにつながるであろう。

本単元は、捕球のコツを考え、仲間と交流しながら、キャッチテンカというボールゲームに取り組む学習である。キャッチテンカには、次のよさがあると考えられる。まず、味方同士で捕りやすいボールを投げ、捕球し合うゲームなので、捕球自体を楽しむことができること。次に、いろいろな捕球の仕方を試すことで、ボールを捕る技能が上達すること。そして、規則を工夫することで、ボールの種類や互いの距離に応じた、捕球するための自己調整力が養われること。このようなキャッチテンカに取り組むことで、いろいろな捕球の仕方を身に付け、捕球のコツを伝えたり尋ねたりしながら、仲間と競い合う楽しさを味わうことができるようになる。しかし、遊びの中で捕球経験の少ない子どもは、捕球自体に恐怖心や苦手意識を示すことが予想される。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 毎時間、易しい捕球の仕方を用いたキャッチタイムの場を仕組む。そうすることで、安心していろいろな捕球の仕方を試すことができるようにする。【対】
- 毎試合、ペアを変えて運動を行うようにする。そうすることで、たくさんの仲間に捕球のコツを伝えたり尋ねたりしながら運動に取り組むことができるようにする。【他】
- ゲームとゲームの間に、勝敗の要因と試した捕球の仕方について振り返るよう促すことで、勝敗や捕球のコツを意識し、よりよい捕球の仕方に挑むことができるようにする。【自】

3 本単元の目標

- いろいろな捕球の仕方を身に付け、捕球のコツを伝えたり尋ねたりしながら、仲間と競い合う楽しさを味わうことができるようにする。
- よりよい捕球の仕方に挑み、運動へのかかわり方を工夫していこうとする態度を養うことができるようにする。

4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○キャッチテンカの行い方を知り、いろいろな捕球の仕方を身に付けることができる。	○自分たちに合った規則を選んでいる。 ○捕球のコツを仲間に伝えたり尋ねたりしている。	○ゲームに進んで取り組み、誰とでも仲よく運動したり、勝敗を受け入れたりしている。

5 指導計画（全4時間）

第1次 キャッチテンカを知る（1時間）

第2次 キャッチテンカを楽しむ（3時間）【本時2／3】

6 本時案 【令和元年11月22日 9:25~10:10 附属中学校体育館】

- (1) ねらい キャッチテンカに取り組むことをとおして、捕球のコツを伝えたり尋ねたりしながら、よりよい捕球の仕方に挑むことができるようにする。
- (2) 学習過程※下線は3つの向き合う姿が表れている子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
1 キャッチタイムに取り組む。(7分) ・捕球のコツ	<ul style="list-style-type: none"> 初めはキャッチタイムだ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 勝つための捕球の仕方を考えよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ゴロキャッチは腰を落とすとよいね。 バウンドキャッチのコツは何かな。 <p>A ボールが落ちるところを捕るとよいよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>本当だ。さっきより簡単に捕れるよ。もう一回やってみよう。【対】</u> 	<p>※キャッチタイムやペアタイム、ゲームの詳細については、別紙指導計画に記載</p> <p>○易しい捕球の仕方をういたキャッチタイムの場を仕組む。そうすることで、安心していろいろな捕球の仕方を試すことができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【対】</p>
2 ペアタイムに取り組む。(8分) ・いろいろな捕球の仕方	<ul style="list-style-type: none"> 次は、ペアタイムだ。Bさんに片手の平キャッチのコツを聞いて、9点をめざそう。 Bさん、投げて。失敗。コツを教えて。 <p>B <u>手を引いて捕ってはどうか。【他】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> すごい、捕れたよ。今日は成功させるぞ。 	<p>○前回とは違うペアでゲームを行うようにする。そうすることで、捕球のコツを伝えたり尋ねたりしながらゲームに取り組むことができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【他】</p>
3 キャッチテンカをする。(25分) ・勝敗の受け入れ ・よりよい捕球の仕方に挑む態度	<ul style="list-style-type: none"> よし、1回戦開始。Bさん、投げて。 1回目は2点。2回目は3点。最後は片手の平キャッチだ。失敗。ぼくは5点。 <p>B わたしは全部成功して10点。合わせて15点。4点差で負けたね。悔しいよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ぼくの片手の平キャッチ失敗が敗因だ。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 勝つためには、どうすればよいかな。 </div> <p>A 成功しても同点だったのか。2回目は高い得点のキャッチをした方がよいのでは。</p> <p>B わたしは、片手の回数を増やそうかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ぼくは、<u>次こそ、しっかり手を引いて、絶対成功させるからね。【自】</u> よし、2回戦だ。Bさんは12点だよ。 やった、初めてゲームで片手の平キャッチが成功したぞ。初勝利でうれしいな。 	<p>○前回とは違うペアでゲームを行うようにする。そうすることで、捕球のコツを伝えたり尋ねたりしながらゲームに取り組むことができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【自】</p> <p>○ゲームとゲームの間に、以下の視点で振り返るよう促すことで、勝敗や捕球のコツを意識し、よりよい捕球の仕方に挑もうとすることができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【自】</p> <ul style="list-style-type: none"> 勝敗の要因 試した捕球の仕方
4 本時の学習を振り返る。(5分) ・学習の成果 ・次時の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 仲間のおかげで、できなかった捕り方ができるようになったよ。 次は、ボールの種類や距離を変えて、クロスキャッチに挑戦したいな。 	

(3) 板書計画

11/22 エンジョイ! キャッチテンカ ③

コツをいじきして、ボールをキャッチしよう

<学習のなかれ>

- キャッチタイム
 - ゴロキャッチ: こしをおとす、ま下でとる
 - バウンドキャッチ: おちてくるところを見る、きりをとる
 - はこキャッチ: すし下げながら
 - 片ピタキャッチ: むかえに行くかんじ
- ペアタイム
- ゲーム
- ふりかえり

何点のとり方にするのか?

- ① かんたか、まけか?
- ② < キャッチはどくだったか?

<キャッチのしらい>

1点 2点 3点 4点 5点